

[芸術教育記録]

2013年度秋学期 芸術学部パフォーミング・アーツ学科 コスモス・フェアでの公演・発表について

Department of Performing Arts, College of Arts, Performances at the Cosmos Fair 2013

松村悠実子

Yumiko Matsumura

〈抄 録〉

2013年度に行われた、芸術学部パフォーミング・アーツ学科のコスモス祭での公演の記録です。

Abstract

The record of Department of Performing Arts performances at Cosmos Fair 2013.

はじめに

例年、コスモス・フェアに合わせてパフォーミング・アーツ学科では日々の授業の成果の発表として公演・試演会・展示を行っている。2013年度の発表は以下の通りである。

〈公演〉

- ・演劇公演「四大海流暴露本の本格演劇作り芝居 Last Sceneはさりげなく 玉川版」
- ・芸術学部演奏会2013
- ・玉川太鼓
- ・アメリカ桜祭り公演 Taiko & Dance2013 再演

〈試演会〉

- ・学生企画試演会 明日の名作 Vol. 2 Work in Progress

〈展示〉

- ・舞台美術展

概要

(1) 演劇公演「四大海流暴露本の本格演劇作り芝居Last Sceneはさりげなく 玉川版」

〈指導監修〉

作・演出：島田啓司（四大海）

装置デザイン：方 勝

照明デザイン：菊地芳子

振付：三森 渚

装置：須藤未来 照明：菊地芳子

音響：二見英幸 衣裳：石橋 舞

メイク：篠田 薫 演出助手：長谷川夏海

舞台監督：柴崎 大／伊藤篤志

制作：新里康昭／松村悠実子

宣伝美術：竹内 聖

出演・スタッフワーク：パフォーミング・アーツ学科生

(パフォーマンス入門A, A, C, 上級B [舞台創造]、卒業プロジェクト履修者)

〈内容〉

本作品は、玉川大学卒業生であり、現在非常勤講師として指導にあたっている島田啓司氏が主宰する劇団S.W.A.T! で、2008年に紀伊國屋ホールにて上演され好評を博した作品を、今回玉川版にアレンジした演劇作品。

〈公演日時〉

11月6日（水）19：00

11月7日（木）19：00

11月8日（金）19：00

11月9日（土）15：15／19：15

11月10日（日）15：15

〈会場〉

大学三号館演劇スタジオ

〈観客数〉

1169名

(2) 芸術学部演奏会2013

指導監修：中村岩城、馬場真二、松川 儒、市川和彦、柿沼伸美、小峰松太郎、小池裕美、畑中真理、
島田亜紀子

出演：パフォーミング・アーツ学科生 オーディション合格者

〈内容〉

| | |
|---------|--|
| ピアノ独奏 | F. リスト 2つの伝説より第2曲 「波の上を渡るパラオのセイフランチェスコ」 |
| ソプラノ独唱 | G. ドニゼッティ 歌劇「ランメルモールのルチア」よりあたりは静けさに包まれ |
| トリオ | F. プーランク 「三重奏曲」より第1楽章 |
| ソプラノ独唱 | V. ベッリーニ 蝶々 G. ドニゼッティ 歌劇「リタ」よりこの清潔で愛らしい宿よ |
| デュオ | J. B. サンジュレー 協奏的二重奏曲 作品55 第1楽章 |
| オルガン独奏 | D. ブクステフーデ 「前奏曲とフーガ」ニ長調 Bux. WV139 |
| フルート二重奏 | F. ドップラー アンダンテとロンド |
| バス・バリ独唱 | G. ヴェルディ 歌劇「マクベス」より 空はますます暗くなる 歌劇「シチリアの晩鐘」より ああ…パレルモ |
| ピアノ独奏 | S. プロコフィエフ トッカータ |

〈公演日時〉

11月10日（日）13：00

〈会場〉

玉川学園 講堂

〈観客数〉

約250名

(3) 玉川太鼓

〈指導監修〉

太鼓指導・演出：小山 正

出演：芸術学部生 有志

〈内容〉

玉川太鼓は、授業前の朝の練習を中心に稽古を重ねている学生の有志のメンバーによる和太鼓チーム。今回は1年生から4年生まで総勢62名による野外での和太鼓の演奏。

〈公演日時〉

11月9日（土）10：30

11月10日（日）10：30

〈会場〉

大学三号館レンガ広場

(4) アメリカ桜祭り公演 「Taiko & Dance 2013」再演

〈指導監修〉

太鼓・舞踊指導・演出：小山 正

出演：芸術学部生（海外特殊研究（アメリカ桜祭り）履修者）

〈内容〉

2013年度アメリカ桜祭り公演の再演。今回は、場所を三号館前のレンガ広場という野外向けにアレンジしたものを上演した。

〈公演日時〉

11月9日（土）13：30

11月10日（日）13：30

(5) 学生企画試演会 明日の名作Vol. 2 Work in Progress

〈指導監修〉

演出・戯曲監修：太宰久夫・西田豊子

装置：須藤未来

照明：菊地芳子

音響：二見英幸

衣裳：石橋 舞

メイク：篠田 薫

映像：吉住知洋

舞台監督：柴崎 大／伊藤篤志

制作：新里康昭／松村悠実子（実習担当）

宣伝美術：竹内 聖

〈内容〉

「明日の名作Vol. 2 Work in Progress」では、6月に行われた、玉川大学芸術学部+こどもの城青山円形劇場提携公演「Performing Arts Fair 2013」で開催された学生企画公開コンペティション「明日の名作～Try for The Next Stage～」にて、観客の公開審査を通過した2作品の試演会を行った。今回は、パフォーミング・アーツ学科3年生2名の作品「僕らのカムパネルラ」と「Ran into.」の2つの演劇作品の試演を行った。

〈公演日時〉

11月9日（土）12：00

11月10日（日）12：00

〈会場〉

大学4号館 300番室

〈観客数〉

194名

(6) 舞台美術展

〈指導監修〉

舞台装置：二村周作・池宮城直美

舞台照明：菊地芳子

舞台衣裳：石橋 舞

〈内容〉

「舞台装置」「劇場技術A」「舞台衣裳」「舞台照明」の授業で製作した模型・衣裳・デザイン画・企画展のライティングの展示。

展示内容は以下の通り。

舞台装置：「マクベス」 舞台模型・平面図・スケッチ

劇場技術A：「銀河鉄道の夜」 舞台模型

舞台衣裳：「夏の夜の夢」又はその他の戯曲 舞台衣裳デザイン・制作

舞台照明：舞台美術展の空間ライティングと展示作品のライティングデザイン

本年度コスモス祭演劇公演「Last sceneはさりげなく」舞台模型

〈開催日程〉

11月6日～10日

〈会場〉

大学三号館演劇側ロビー

おわりに

コスモス・フェアでのこのパフォーマンス・アート学科の各種の企画は特に実技系科目の成果の発表として学生達の目標であり、またコスモス・フェアでの発表であるということから、学内のみならず保護者や受験生など外部の方々に学科の取り組みを披露出来る機会である。数多くの企画が並行して作業していくため、稽古場の確保やスケジューリング、運営など改善の点はあるが、「パフォーマンス・アート」学科らしい様々な角度からの「パフォーマンス」の可能性を展開出来たと考える。